

文化見聞ピクニック 参加の記

木村 謙司

今年度春の、親睦うぶと行くお花見パーティは願つてもない好天に恵まれ、予定通り四月十三日の日曜日、横浜は金沢八景の野島公園で行われた。この公園は、金沢八景の田と島の先に浮かぶ島全体が公園になりてゐるので、かつては伊藤博文の別荘だつた所だ。そつたが、中央に位置する小山の上は平坦に広がつてあり、三四六十度の展望が得られる（写眞の建物は展望台）と同時に、そこには植え込まれた吉野桜を鑑賞することもできる、なかなかよい所であつた。

昨日は朝の真合い良い日曜日と云ふことで、瀬戸内の人たちで公園の下はマイカーが群れ、駐車するのに苦労させられたが、小山の上では桜を楽しむうどいう人は意外に少なく、大連れの花見も盛況であった。当日の参加人員は二十一七名と大多数。（数え忘れました。集合写眞参照）（写眞嫌いな奴もいて写つていらない子もいるやう）

幹事長の眞野さんをはじめ、役割を分担してくれた役員の方々の「配慮」で、せいからと散りかかる様のむと、恒段の割に信じられない程大量に、様々の物がぎりしづめいた折詰を着て、まことに乾杯一。

せつから皆が集まるのだから、何か勉強になる事も取入れようとの提案に従つて、初めての試みながら、JRC公認の訓練士さんを招いて、ラブリートールの訓練の実際を公開実演していただき

き、その後、和やかに懇談形式で質疑の応答が続いたが、これは初めてこういつた催しに参加した方々にも、「好評をいたしました」といふ頭で、しまりがないと言えばしまりはないけれど、ラブリートールの、明るく人懐っこいたたずまじを露わせての訓練風景は、微笑みを誇るものでもあつた。（写眞はその一場面）

うづわやんたちも人間様お互いに久闊を叙し、午後四時頃解散、穏やかな春の一日でありました。

次の催しは、七月の十九・二十日の一泊のキャンプです。講習は講団のページに載つてゐます。皆様にお手に持かれるのを楽しみにしてお待ちます。

